

みんなでつくる園の未来!

保育ナビ

2026
NOVEMBER
〈8/12〉

11

特集

2027年3月告示予定!

3要領・指針改訂の重要キーワード

「遊びの深まり」を
園でどう実現するか

試してみたら、これは便利!

保育ICT活用術

ICTを使った園内研修で

同じ認識で子どもと向き合う

エコロジカルな園庭へ

再生のための実践ゼミ

小さな生態系こそ手入れをしたい

保育ナビエッセイ

こんな園があったらいいな

「食」を通して生活世界を味わい、

編み直していく園

2026年度は、「子どもというワクワクが広がる！園がまちの『未来』になる」
をコンセプトに、内容をお届けします。

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

 園長  主任  学年リーダー

 マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

 マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。

 マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

右の二次元コードからアクセスするか「保育ナビ」で検索してください。



保育ナビ 

※ダウンロード期限は、2027年3月31日までです。

『保育ナビ』は、
編集委員が
サポートしています。

秋田喜代美（学習院大学）
浅井幸子（東京大学）
大方美香（大阪総合保育大学）
大豆生田啓友（玉川大学）
北野幸子（神戸大学大学院）
古賀松香（京都教育大学）
境 愛一郎（共立女子大学）
汐見稔幸（東京大学名誉教授）
砂上史子（千葉大学大学院）
松井剛太（香川大学）
無藤 隆（白梅学園大学名誉教授）
矢藤誠慈郎（保育のデザイン研究所）
敬称略 50音順

★編集委員から読者の皆さんへの
メッセージを月替わりで配信します。
詳しくは P.32 へ！

『保育ナビ』が
伝えたいこと

子どもたちのより良い育ちを目指す これからの保育

国の3要領・指針改訂のポイントが見えてきた今、その本質を正しく捉え、日々の保育へどのように取り入れていくかが重要になります。今回の特集では、改訂の変更点をもとに具体的なヒントを委員の先生方にうかがいました。本特集が子どもたちの「遊びの深まり」について読者の皆さまと共に考えていくきっかけとなり、明日からの保育を支えるヒントになれば幸いです。

——『保育ナビ』編集部

巻頭

フレーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

特集

園 2027年3月告示予定！
3要領・指針改訂の重要キーワード
「遊びの深まり」を
園でどう実現するか …4

秋田喜代美

対談

保育・教育の未来を探る
～周辺領域との交わりから
第23回 「子ども中心」のその先へ
世界と共に生きる人間に
なっていく教育 …18

汐見稔幸（東京大学名誉教授）
永田佳之（聖心女子大学）

注目テーマ

主 ここに注目！
「保育の質」を捉え直すための
12のキーワード …24

秋田喜代美

リ 学び合いが広がる！
園と小学校の交流実践 …26

無藤 隆

試してみたら、これは便利！
保育ICT活用術 …28

石井章仁

園の未来を握るリスペクト型マネジメント
少子化をチャンスに変える！
多機能化と地域共創 …30

大豆生田啓友

編集委員に聞く
保育、ここが面白い！ …32

汐見稔幸

保育内容

リ 保育環境 音環境から考える
保育者のかかわりと子どもの発達 …34

嶋田容子

3・4・5歳児
遊びが育つ保育
一思考力に焦点を当てて …36

田代幸代

0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
～子どものみかた～ …38

井桁容子

主 やってみよう！
子どもの姿ベースの指導計画 …40

大豆生田啓友 佐伯絵美

リ エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ …44

小西貴士 ポール・スミザー

ルーティン業務から脱却！
保育の“あたりまえ”見直し術 …48

浅井拓久也

Information …49

人材育成

園 地域の保育を創るリーダーたちを
どう育てるか …50

砂上史子

主 園のミドルリーダー育成講座 …54

杉村基樹

国の動き

国の動きを読む！
研究者の目2026 …56

大方美香

園経営

園 経営コンサルタントが提案する
変化する時代の経営戦略 …58

桑戸真二 柳 修二

チャレンジの前の法律講座 …60

木元有香

エッセイ

保育ナビエッセイ
こんな園があったらいいな …62

境 愛一郎



2027年3月告示予定!

3要領・指針

改訂の重要キーワード

「遊びの深まり」を 園でどう実現するか



Contents

はじめに

0歳児からの幼児教育と「遊びの深まり」

秋田喜代美 P.5

3要領・指針はここが検討された!

注目すべき9つのポイント P.6

座談会

3要領・指針の改訂でどう保育が変わる?

日々の保育から考える「遊びの深まり」 P.7

まとめ

「遊びの深まり」を共に楽しむ園づくりへ

古賀松香 P.16

日々の保育から子どもの「遊び」が深まるために

秋田喜代美 P.17

監修 秋田喜代美 (学習院大学教授・東京大学名誉教授)

イラスト/サリー

2027年3月に告示、2028年4月より施行予定の3要領・指針について、文部科学省 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 幼児教育ワーキンググループ(以下、文部科学省 幼児教育WG)とこども家庭庁 こども家庭審議会 幼児期までのこどもの育ち部会 保育専門委員会(以下、こども家庭庁 保育専門委員会)では2025年10月より議論が重ねられてきました。全10回の検討会ののち、2026年8月4日に「幼児教育WG・保育専門委員会 取りまとめ(案)※会議後修正」が出されました。

本特集ではこの取りまとめ(案)の内容を踏まえて、委員の先生方にお話を聞きました。

文部科学省



こども家庭庁



0歳児からの幼児教育と 「遊びの深まり」



秋田喜代美
(学習院大学)

プロフィール●秋田喜代美(あきたきよみ)／学習院大学教授。東京大学名誉教授。こども家庭庁 保育専門委員会 委員長。文部科学省 教育課程部会 教育課程企画特別部会 主査代理。こども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会 座長。

3 要領・指針は現在、2026(令和8)年度末までに告示がなされ、2027(令和9)年度が周知期間、そして2028(令和10)年度からの全面実施に向けて改訂の作業が進められています。特に重要な点としてここでは3点を挙げます。

1 今回の3要領・指針の改訂に向けての幼児教育WG・保育専門委員会取りまとめまでの道のりにおいて、これまでと最も大きく異なる点は、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領の順に3つの委員会が立ち上がり、それぞれに課題を抽出し、改訂の検討を行っていたのに対し、こども家庭庁がで

きて初めての今回の改訂においては、文部科学省の幼児教育WGとこども家庭庁の保育専門委員会が、それぞれの会だけではなく、合同で会議を開き、議論のまとめを1本で作ったことです。

そしてその1本でのまとめとするために、議論のまとめにおいて『幼児教育』とは、0歳～小学校就学前までの幼稚園、保育所、認定こども園における教育」と注記されていることにも注意したいと思います。ここでの『幼児教育』とは3歳からではなく、0歳から就学前までとなります。

2 そしてこの議論のまとめのサブタイトルとして『資質・能力の育成に向けた『遊びの深まり』

の実現」と記されていることが大事です。何のための改訂かと言えば、実現したいのは、資質・能力の育成であり、それは『遊びの深まり』を実現することによって可能となるということを示しています。

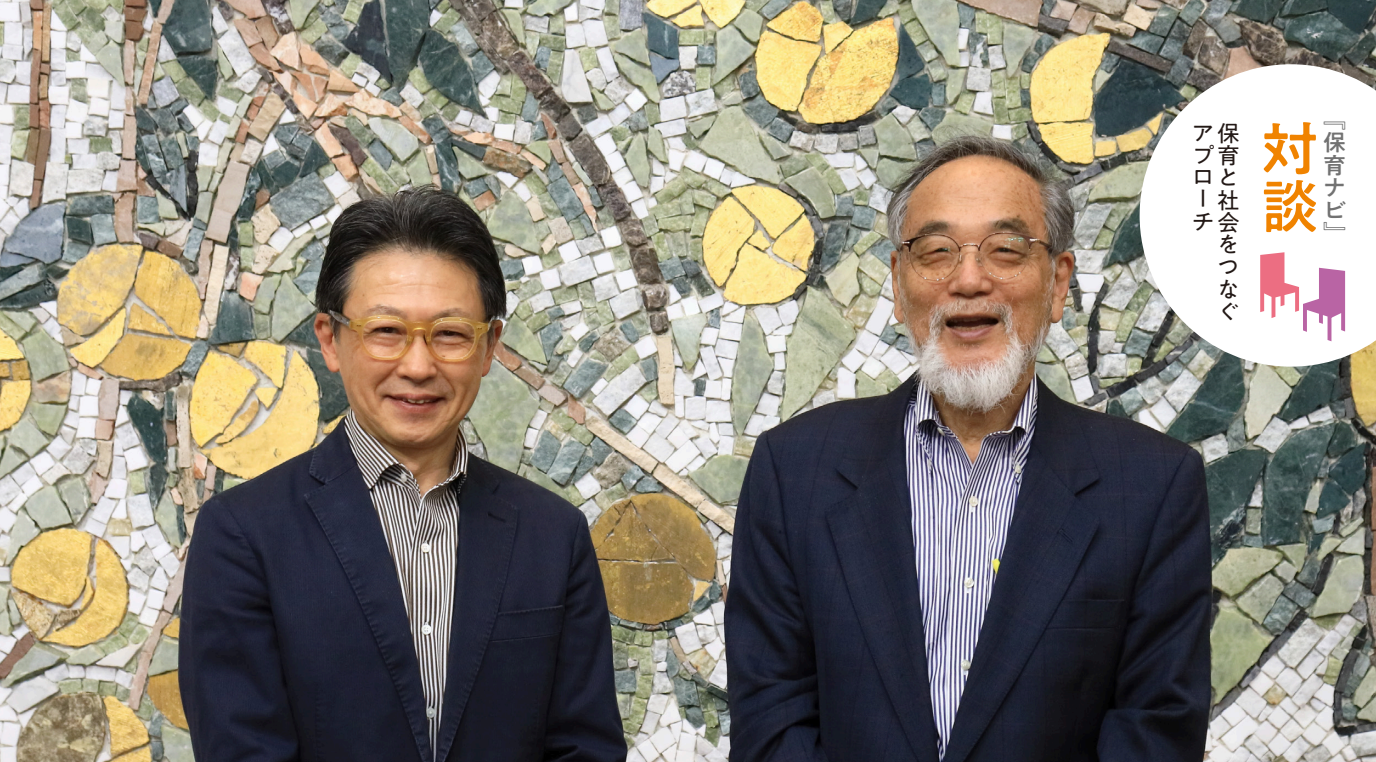
また、『全ての乳幼児に対して質の高い幼児教育を提供するため、設置者や施設類型に関わらず、幼児教育施設(幼稚園、保育所、認定こども園)において、資質・能力の育成に向けた『遊びの深まり』の実現を図り、幼・小・中・高を通じて学びの改善を図る』と述べられています。

これまで『遊び』については自発的な遊びということが重視されてきましたが、今回は『遊びの深

まり』という表現がされています。『遊びの深まり』とは一体どんなことなのだろうと各園でも具体的な自園の事例を通して考えていくことが大事になります。ですので、今回の特集でも、この点を中心にして座談会を組むこととしました。

3 実際の議論が多様な視点からなされ、議論のまとめでは、9つのポイントがまとめられています(P6参照)。

以上 1、2、3の点はいずれも大事ですが、今回の特集では特に園での日々の実践と切り離せない『遊びの深まり』と『指導・評価の改善充実の在り方』、『養護等の改善充実の在り方』の3点の内容に焦点を当てて座談会を行いました。



永田佳之

(聖心女子大学教授)

汐見稔幸

(東京大学名誉教授)

汐見稔幸
監修

保育・教育の

未来を探る

～周辺領域との交わりから

第23回

「子ども中心」のその先へ
世界と共に生きる人間に
なっていく教育

保育は、人間を育てるといふ、ある意味でたいへん難しい仕事です。人間と文化のあり方、そして人間と社会のあり方の根本に立ち返って保育という営みを考えることなしに、本当の保育は見えてこないのではないかと、私は考えています。

今年度は様々な分野の第一線で活躍する方々をお招きし、「人が生きることと持続可能な社会」「本当の学びとは」という問いを軸に、これからの保育・教育、そして私たちの生き方を照らす光を探っていきます。今回は、長年にわたりEESD(持続可能な開発のための教育)やユネスコの教育思想の最前線を切り拓いてきた永田佳之先生とお話しします。(汐見稔幸)

対談は2026年5月1日に聖心女子大学クロアバール共生研究所で実施。写真は「黄金の林檎」壁画前で。



チャレンジ④

偶然を 地域共創に 活かす【前編】

今回、実践したのは
社会福祉法人十坂協会
幼保連携型認定こども園
十坂こども園

所在地：山形県酒田市
定員：150人 職員数：46人
町の概要：山形県の北西部に位置する酒田市は人口約9万人の港湾都市。雄大な鳥海山を望み、最上川や日本海という自然に恵まれた日本有数の米どころで、庄内米や地酒も全国的に知られている。

取り組みの概要

- ① 園長に就任後、多様な視点と専門性をもつ保護者との出会いを活かし、園の活動に様々なかたちで参画してもらう取り組みをスタート。
- ② 地域住民向けクラブ活動の実施、地域に開かれた新園舎建設など、多様な地域の方が集える、地域の拠点になる園づくりに取り組む。

少子化を チャンスに変える！

多機能化と 地域共創

今、少子化の中でも、まちや地域において、園の可能性が様々な形で生まれています。今後の園づくりのカギとなる多機能化と地域共創のチャレンジをリスペクト型マネジメントの視点から紹介します。



インタビュー
大豆生田啓友
(玉川大学)

語り合う風土・
ミッションの
共有

職員一人
ひとりの良さ・
個性の尊重

個々を活かす
働き方の
マネジメント

外部(家庭・
地域、自治体)
との協働的
かかわり



← リスペクト型マネジメントの詳細は
ここからダウンロード

ワクワク実現のための リスペクト型マネジメント

取り組みの経緯とリスペクト型マネジメントの視点
からのアプローチについてお話しいただきました。

地域との活動に 取り組んだ理由

保育者だけで保育をするのは、ある意味で保育の「ワンオペ」だと考え、できるだけ地域の多様な方に保育にかかわっていただくようにしています。その中で、ご縁があつて出会った保護者や地域の方とのパイプを太く、深くしていくことを大切にしています。

そもそも、私が園長に就任した当時、園のマネジメントを自分一人の力だけで進めていくことに、限界と不安を感じていました。若い保護者との世代間のギャップも広がり、自分の保育観やアドバイスがズレていないか悩むこともありました。その一方で、介護福祉士のお母さんなど、私自身の保育の悩みについて相談できる保護者

との関係が生まれていました。はつきりアドバイスをくれる関係が、本当にありがたかったです。

こうした多様な視点や専門性をもつ人たちが園の中にいたら、保育者だけで抱え込む現状を変えられるのではないかと感じ、私から気になる保護者に声をかけるなどして、職員や協力者のかたちで園に入っていたいでいます。

酒田市内で人気のカフェを営む保護者とは、お子さんが生まれる前の園見学時に意気投合。「新しい園舎ができたらカフェのような憩いのスペースを作りたいので、その時は一緒にやりましょう」と話し、2年ほど経ってから「あの時の約束を果たすために来ました」と訪ねてきてくださいました。もう一人、他県からの移住で、パン屋さんを営んでいた保護者と



園長
上野奈穂子先生

お話をうかがった人



保護者の協力で、コーヒーやパンの販売を実施

酒田市内で人気のカフェを営む保護者とパン屋さんを営んでいた保護者の協力で、地域の方にコーヒー、パンと焼き菓子の販売を行う「TOSACAFE」を園内で毎月実施しています。このパン屋さんを営んでいたご主人が非常にユニークな方で、フランスのパティスリーで働いた経験をおもちでした。普通なら出会えないような素晴らしいクリエイターが仲間になってくれたのです。



どのように取り組んだのか

具体的な取り組みについて、上野奈穂子先生に教えていただきました。

ヤギがみんなの心のオアシスに

園では何十年もヤギを飼育し、地域でも知られていたもので、以前から地域の方が野菜をヤギに持ってきてくださったりしていました。園舎を新築する際に考えたのは、「園の入り口の、みんなの目にとまる場所にヤギ小屋を作ろう」でした。みんなの心のオアシスになればいいなという素朴な願いからでしたが、登降園の親子だけでなく、地域の方も目にきてくださっています。これまで地域の中で長年積み重ねてきた歴史が、新園舎でも息づいています。



ただいだけで心が温くなる大きな土間

新園舎には、私の心にあるいちばんの原風景があります。私の心にあるいちばんの原風景は、幼い頃の公民館や公会堂の大きな土間です。土間から数段上がると広い量の間が広がっていて、そこで大人たちが集まって楽しそうにお酒を飲んだり、語り合ったり、共同作業をしたりしていました。少子化・過疎化が進む地域だからこそ、何か用事がなくても人が集まっていて、ただいだけで心が温くなるようなコミュニティの拠点を園の中につくらなければならないと確信していました。

相手への深いリスペクトがご縁を引き寄せる

大豆生田啓友

少子化が急激に進行している山形県で、定員を150人まで増やし続けていることは驚異的です。多くの保護者が十坂こども園を選び、地域の方も集まる園づくりは、園の様々な活動に保護者や地域の方のかかわりを求める園長の思いから始まったといえます。リスペクト型マネジメントの視点から見ると、「外部との協働的かかわり」があり、園長自身の度量の広さと、かかわる方々への深いリスペクトがご縁を引き寄せているとインタビューから実感しました。

上野先生が実践する、地域における保育のあり方は、現場の保育者にとっても、子育ての責任を1人で抱え込むことなく、地域の多様な大人たちに支えられながら「みんなで子どもを育てる」という、安心感を得るセーフティネットとして機能しています。

は、「子どもを十坂こども園に預けたい」と当園を選んでくださり、ご縁ができました。定住のお手伝いをしたところ、「自分も園のために働きたい」と園バスの運転手として園に入ってくださいました。この2人の保護者の協力で、「地域開放・交流事業／子育て支援事業」として、コーヒーやパンなどの販売を毎月実施しています。このほか、多世代の地域住民向けクラブ活動の実施など、地域に開かれた「みんなの居場所」づくりに取り組んでいます。

リスペクト型マネジメントの視点から語り合う風土・ミッションの共有

最も大切に行っているのは、職員たちが安心して、いきいきと働ける環境づくりです。教頭と主幹保育教諭たちが、日々の保育で生じる微細な問題や、職員1人ひとりの迷い、不安を、丁寧にすくい上げてくれます。そのうえで、どんなに小さな課題であっても放置せず、その日のうちに対話を通じてクリアするようにしています。

プロフィール●大豆生田啓友（おおまめうだ ひろとも）／玉川大学教育学部教授。専門は保育学、乳幼児教育学。こども家庭庁「こども家庭審議会」委員、「こども家庭審議会 幼児期までのこどもの育ち部会 保育専門委員会」委員長代理、文部科学省「幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム」委員等歴任。著書に「子どもの姿ベースの指導計画シリーズ」（全3巻）、「園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント」（全3巻、すべてフレーベル館）ほか多数。

保育の当たり前を捉え直す

子どもという
ワクワクが
広がる!

保育内容 INDEX

保育実践の知識や考え方、発想、スキルなど、「保育の当たり前」を捉え直すうえで役立つ記事を掲載しています。気になる記事を園内で共有し、語り合い、試してみ、子どもというワクワクを広げていきましょう。

P.34

保育環境
音環境から考える
保育者のかかわりと子どもの発達
こんな声が聞こえていますか？
—目指す音環境とは—

P.36

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
—思考力に焦点を当てて—
数量にかかわる豊かな体験

P.38

0・1・2歳児
保育者のセンス・オブ・ワンダー
～子どものみかた～
そうだったのか!

P.40

やってみよう!
子どもの姿ベースの指導計画
生活と遊びをつなげて考える

P.44

エコロジカルな園庭へ
再生のための実践ゼミ
小さな生態系こそ手入れをしたい

P.48

ルーティン業務から脱却!
保育の“あたりまえ”見直し術
「午睡=パジャマ」、
令和もまだ続けますか?

PICK UP!



遊びや生活の中で、子どもが「数えたい」と思う場面はどこにあるでしょうか。今月は栽培物の収穫から数量に関する興味や関心につながった事例についてご紹介します。

PICK UP!



土や花壇を1年かけて作った後、次の年に苗を植え、その後はどんなふうの手をかけていけばいいでしょうか。その考え方や具体的な手法を紹介します。

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

公式サイトやSNSで保育最新情報をチェック!

『保育ナビ』は公式サイトやSNSでも様々な情報を配信しています。
より早く、より詳しい情報をぜひともチェックしてみてください。

公式サイト



YouTube



Facebook



Instagram



『保育ナビ』公式サイトの URL 変更に伴うご注意

セキュリティ強化のため、公式サイトの URL を以下の通り変更しています。

<https://hoiku-navi.froebel-kan.co.jp/>

2025 年 4 月号以前の誌面やチラシ等に掲載されている URL につきましては、現在は弊社での運用を終了しており、一切関係がございません。現在、旧 URL にアクセスすると外部のサイトが表示される状況となっております。読者の皆様におかれましては、旧 URL へアクセスしたり、表示されたサイトで個人情報の入力等を行ったりしないよう、十分にご注意をお願いします。

保育ナビ

保育ナビ
ブック

マンガでわかる！ 保育者の意識を育てる 園の危機管理のポイント

2026年
10月刊行

著者：脇 貴志
(株式会社アイギス)

マンガ：アベナオミ



定価 2,970 円 (本体 2,700 円+税 10%)
96 ページ 26×18cm
ISBN 978-4-577-81590-8 108-37

安全は、保育内容に
優先します。
子どもたちがもっと
安心して生活できる園に！

園の危機（安全）管理においては、これだけをやっているだけで大丈夫という解決法がないからこそ、保育者一人ひとりに高い危機（安全）管理意識が求められます。現在の危機管理は「情報戦」。まず、知識（情報）が重要と言われます。本書では、園内で共有しておくとい項目を網羅的にカバー。段階的、かつ、それぞれの関連性が理解しやすいよう整理しました。情報不足を補いながら、基本的な考え方を身につけ、園の安全体制を整えていく際、役立ちます。

※より良い内容とするために表紙と内容に変更になることがあります

本書の特長

- 1 短い時間で要点がつかめるように「マンガ」と「理論」をワンセットに！
- 2 18のリアルな事例をわかりやすく整理。保育者が学ぶべきポイントを紹介！



若手もベテランも園全体で危機管理意識をアップ！

※各ページの画像は見本です。

Contents

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 第1章 危機管理、考え方の3つの柱 | 第4章 危機管理意識を根付かせるために |
| 第2章 おさえるべき、「安全」のための6つの基本 | 第5章 職員を「守る」ためにも知っておきたいこと |
| 第3章 しっかり意識したい9つのポイント | |